

| | | | | | |
|----------|-------------------|------|-----|-------|------|
| 授業科目 | 言語学Ⅱ（文法・意味・社会言語学） | | | | |
| 担当者 | 松井 理直 | | | | |
| 実務経験者の概要 | | | | | |
| 学科名 | 言語聴覚専攻科 | 学 年 | 1 年 | 総単位数 | 1 単位 |
| | | 開講時期 | 後期 | 選択・必修 | 必修 |

■ 内 容

日本語という言語の特徴をよく理解し、言語障害の分析に応用する。

■ 到達目標

日本語の形態現象・文法・意味について習熟する。

■ 授業計画

- 第1回 形態素の概念
- 第2回 日本語の語種について
- 第3回 同意語と下位語・語彙の構造について
- 第4回 形態素と語の関係
- 第5回 日本語の複合名詞・複合動詞について
- 第6回 動詞形態素の特性
- 第7回 テンスとアスペクト
- 第8回 ヴォイスと極性
- 第9回 特殊なヴォイスとモダリティ
- 第10回 日本語の構造
- 第11回 生成文法の考え方
- 第12回 日本語の意味について
- 第13回 比喩と言語理解
- 第14回 ムードとダイクシス
- 第15回 その他の意味現象

■ 評価方法

筆記試験 80%、小テスト 20%

■ 授業時間外の学習（予習・復習等）について

予習時間 1 時間程度。復習時間は個人の理解度によるが、1 時間程度。

■ 教科書

書 名：日本語音声学入門
 著者名：斎藤純男
 出版社：三省堂

■ 参考図書

| |
|--|
| |
|--|

■ 留意事項

授業中に分からないことがあれば、必ずその場で質問をすること。

質問は大歓迎なので、授業中に可能な限り内容を理解するようにしてください。

小テストを含む試験時に不正な行為があったと認められた者については、規定に定める第16条を適用し、当期科目の全ての試験を無効にする。

■ 講義受講にあたって